

JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	多文化共生に向けた外国人住民と市民による「共創型」居場所づくり
2. 活動国・地域	鳥取県鳥取市
3. 事業分野	☐ 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 ☒ 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	外国人住民が企画・運営の「ホスト」として主体的に地域活動に参画し、地域住民と共に実践事例を創り出すことを目標とする。また、既存の地域活動に国際交流を組み込むことで、関心の低い層を含む地域住民との相互理解を深め、先進事例の視察や広報・啓発活動を通じて事業の充実と効果的な展開につなげる。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	鳥取県内の外国人住民の増加に伴い、多文化共生の必要性が高まっているが、従来のイベントは関心層に限定されがちで、外国人が「支援される側」に固定される課題があった。また、外国人住民と接する機会が限られている地域住民も多く、相互理解を深める継続的な交流の場が求められている。これらの取り組みを進めることにより、実施団体の事業実施のノウハウの蓄積や運営体制の向上も期待される。
6. 事業の意義・目的	外国人住民が地域社会の担い手として主体的に参画できる仕組みを創り出すとともに、既存の地域コミュニティ活動に国際交流の要素を付加（アドオン）し、持続可能な多文化共生社会の実現を目指す。
7. 主な対象者（受益者）	外国人住民（技能実習生、特定技能、留学生等）約 50 人、地域住民（特に公民館、子供会、町内会等の既存コミュニティ参加者）約 50 人
8. 実施期間	（西暦） 2026 年 8 月～2027 年 8 月
9. 活動内容	1. 「アドオン型」多文化共生プログラムの実施 公民館、子供会、町内会等の既存の地域活動において、外国人住民が「教える側」の講師や企画運営の担い手として主体的に参画し、外国人住民と地域住民が継続的に交流・協働できる居場所づくりを推進する。 2. 外国人住民主体の企画・運営会議の実施 外国人住民が主体となり、自ら紹介したい文化や実施したい企画について話し合う会議を定期的に開催する。 3. 先進事例視察及び広報・啓発活動の実施 先進事例の視察を通じて知見を深めるとともに、広報・啓発活動を行い、外国人住民と地域住民の相互交流の促進につなげる。
10. 事業費	830,700 円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	一般社団法人外国人ライフサポート nicotto
2. 主な活動内容	多文化共生社会の実現を目的とし、月 2 回の「日本語カフェ」・「英語カフェ」の開催等を通じて、地域住民と外国人住民のコミュニケーションの輪を広げる活動を継続している。本事業では、これまでの場づくりの知見を活かし、外国人住民が主体的に地域社会へ参画する「共創型」居場所づくりを目指す。